

## 令和2年度 第2回春日井市緑の審議会議事録

1. 開催日時 令和2年10月15日木曜日 午後2時から午後3時まで

2. 開催場所 市役所南館4階 第3委員会室

### 3. 出席者

[会長]	中部大学工学部 創造理工学実験教育科/応用化学科教授	伊藤 響
[委員]	春日井造園研究会会長	梶田 芳樹
	春日井市区長町内会長連合会副会長	松本 伸雄
	春日井自然友の会会長	長縄 秀孝
	春日井市議会議員	小林 宣子
	春日井市議会議員	原田 祐治
	市民公募	池田 法子
	愛知県都市整備局 都市基盤部公園緑地課長	小嶋 幸則
		(代理 稲吉 豊治)
[事務局]	建設部次長	堀尾 朋宏
	建設部公園緑地課長	田中 康敬
	課長補佐	稲垣 真
	施設担当主査	谷口 佳弘
	緑化担当主査	花井 輝年
	主事	鈴木 大貴

4. 議題 「春日井市緑の基本計画（中間案）について」

### 5. 会議資料

春日井市緑の基本計画（中間案）

春日井市緑の基本計画の概要

#### 【その他資料】

春日井市緑の審議会出席者名簿

春日井市緑の審議会配席図

### 6. 議事内容

議題「春日井市緑の基本計画（中間案）について」

#### 【事務局 花井】

「春日井市緑の基本計画（中間案）について」を、資料に基づき説明を行った。

#### 【稲吉委員】

よくまとめられたと感じる。

いくつか対応を願いたい項目がある。

2-11 ページの図 2-11「公園種別ごとの開設後経過年数」に、不明との記載がある。通常、公園等の開設については条例等で位置付けられると思うので、もう少し調査をしてほしい。特に運動公園は1箇所なのでわかるのではないかな。

3-2 ページから 3-6 ページの分析結果を表す表について、評価のうち「○」と「△」が逆ではないかと思われる箇所がある。

例えば、3-2 ページの「歴史・風土、伝統・文化」の「史跡・名称」で、落合公園の分析結果に老木化と記載されているが、これは課題であり「△」ではないか。

また、その下の「天然記念物」では、シデコブシの自生地のことが記載されているが、指定されているのに「△」であるならば何か課題があるのではないかな。課題がないのであれば「○」ではないか。

3-3 ページ一番下の落合公園の分析結果に官民連携について検討中と記載されている。検討中であるならば何か課題があると思われるため、「△」ではないかなど、他のページでもいくつか検討中と記載されているので、整理してほしい。

また、4-2 ページの図 4-1「緑のまちづくり 将来像図」の中に、緑のゾーンとして保全していく箇所が示されている。2-31 ページに、上位関連計画として春日井市都市計画マスタープランが記載されており、図 2-24「将来都市構造図」に産業誘導ゾーンが示されている。産業誘導ゾーンは、今は農地や樹林地であるが、将来工場や物流倉庫などの産業関係を誘致していきたいことから、やがて変わっていくところである。図 4-1 で示している緑を保全するゾーンとの整合を図ってほしい。

#### 【事務局 花井】

まず、2-1 ページの開設日が不明な公園については、改めて資料を再調査し、判明した箇所について修正を行う。

3-2 ページからの分析結果を表す表については、まず落合公園の老木化については、老木化への対応を今後取り組む施策として挙げていることから、「△」に修正する。

次に、天然記念物の記載については、希少植物が自生していることを表しているため「○」に修正する。

3-3 ページの落合公園の官民連携については、「検討中」の記載について関係課と改めて調整し、修正する。

産業誘導ゾーンは、その位置づけや形成する場所について都市計画マスタープランに示されていることから、4-2 ページの図 4-1「緑のまちづくり 将来像図」は、2-31 ページに示されている図 2-24「将来都市構造図」などの上位関連計画との整合を図る。

#### 【伊藤会長】

他に意見がないようなので採決する。「春日井市緑の基本計画(中間案)」について、本日説明された内容で策定を進めることでよろしいか。

#### 【委員一同】

異議なし。

【伊藤会長】

当審議会として、今回説明のあった内容について、賛同することとする。

上記のとおり春日井市緑の審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名及び押印する。

令和2年10月26日

会 長 伊藤 響

署名人 梶田 芳樹